

# 5-2

## ノロウイルスによる感染症胃腸炎で何を学んだか

早期発見・早期対応で拡大を防ぐ

行政との連携

マニュアルの見直し

特別養護老人ホーム 王子光照苑

施設サービス部 稲葉よね子

東京都北区王子3丁目3番1号

TEL 03-3927-9851

E-mail inaba@o-kousyouen.com

FAX 03-3927-9835

URL <http://www.o-kousyouen.com>

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要 10p

王子光照苑は、昭和63年11月に開設し、質の高い介護サービスを目指し、平成14年に東京都23区内の特養としては初めて、国際品質標準規格である「ISO9001」の認証を取得しました。特養50床、短期入所2床、在宅通常規模型30名、認知症型12名（1日定員）、その他、支援センターや訪問介護事業も併設している、高齢者総合福祉施設です。

### 〈取り組んだ課題〉

- ノロウイルスの症状と感冒症状との見極めの困難
- ノロウイルス感染症症状を有する方への対応方法
- 職員の感染症についての認識確認
- 面会者家族などへの感染予防の周知徹底
- ハード面から起こる問題
- 保健所との連携（10名 連絡義務）

### 〈具体的な取り組み〉

- リスクマネジメント委員会ほぼ毎日開催し、マニュアルに添って実施確認、決定事項周知
  - ・感染症を疑い対応
  - ・保健所への連絡（10名連絡義務）
  - ・家族への報告、面会時の手洗い・マスク使用
- 衛生管理用品の検討
  - ・嘔吐物／排泄処理／衣類洗濯方法
  - ・共用トイレ・ポータブルトイレ消毒
  - ・ガウンテクニック徹底
- ハード面の検討
  - ・居室の見直し（食堂含む）
  - ・職員の配置

### 〈活動の成果と評価〉

- 施設では、虚弱な高齢者の生活の場であるため、感染症対策を徹底することが大切であり、普段からの衛生管理に注意を払い、利用者の健康管理・状態変化に常に敏感に対応、感染症の疑いがある場合は、早期に保健所などとの機関と連携を図ることが大事である
- 各部署（管理課含む）応援体制
- 保健所Drとの綿密な連絡体制
  - ・年末年始間にも係わらず毎日電話連絡
- 家族へのスムーズ連絡により、是正なし

### 〈今後の課題〉

- ユニット必要性
- 日々の観察の重要性 変化に敏感になる。
  - ・記録の目的（存在証明・内容証明・根拠証明）
- 感染症に対する知識・技術の教育研修を継続して実施することの重要性
- 手順書・マニュアルなどは見直しを図る
- 収入確保（ショートキャンセル）減収

### 〈参考資料など〉

- \*東京都福祉保健局長通達文をご覧ください（平成17年2月25日 16福指第852号）